



水道用補修弁 点検チェックシート

第二版

管 理 番 号		点 検 日	年 月 日	
立 会 者		点 検 者		
設置場所(住所)		前 回 の 点 検 日	年 月 日	
呼 び 径	φ mm	開 閉 方 向 (キャップ式の場合) ※レバー式の開閉方向 は表示による	左回り開き・右回り開き	
面 間 寸 法	L= mm		 左開きキャップ (ツバあり)	 右開きキャップ (ツバなし)
補 修 弁 の 種 類	操作方法: レバー・キャップ 弁形式: ボール・バタフライ			
フ ラ ン ジ 規 格	7.5K・10K・16K ボルト数:			
製 造 会 社 <small>(注1)</small>		上 部 接 続 バ ル ブ	消火栓・空気弁・その他	
製 造 年 <small>(注2)</small>		弁 開 度	全開・全閉	

No.	点検項目	点検内容	点検結果	処置が必要な場合
1	使用状況	使用流体	浄水・他	/
2	使用状況	設置状況	屋外・弁室・他	/
3	使用状況	弁室の水没・堆積土砂	有・無	水没対策・土砂撤去
4	外観点検	外面塗装の剥離・錆・腐食の状態	A・B・C	B: 交換計画、C: 交換
		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>A</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>B</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>C</p>  </div> </div>		
5	外観点検	組立ボルトナットの腐食状態	A・B・C	B: 交換計画、C: 交換
		配管ボルトナットの腐食状態	A・B・C	B: 交換計画、C: 交換
		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>A</p>  <p>ナット: 腐食無 ボルト: 腐食無</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>B</p>  <p>ナット: 腐食中 ボルト: 腐食中</p> </div> <div style="text-align: center; border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>C</p>  <p>ナット: 腐食大 ボルト: 腐食大</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>		
ボルトナットの状態が“C”の場合、破損事故が発生するため以下の点検を行わず、大至急補修弁を交換してください。				
6	外観点検	ボルトナットのゆるみ	有・無	修理
7	外観点検	部品の破損、脱落	有・無	修理
8	外観点検	フランジ部・その他接続部漏水	有・無	修理
9	機能点検	開閉操作状況 (操作軽重、異音など)	良・否	修理・交換
10	機能点検	総回転数(キャップ式場合)	回転	/
11	機能点検	止水性確認	良・否	修理・交換

点検の前に「点検前の注意事項」を確認して安全に注意して作業をおこなってください。

修理又は交換が必要な場合は製造会社に連絡をしてください。

注1) 製造会社はバルブの弁箱に鑄出表示されていますので水道用バルブ便覧の参考資料を参照してください。

注2) 製造年はバルブの弁箱に鑄出表示又はスタンプ表示されています。

点検前の注意事項

点検の前にこの注意事項をお読みのうえ、安全に作業を行ってください。

- 1) 点検時に弁室に入る場合は必ず酸素濃度を測定するとともに、有毒ガスに注意してください。 弁室内で点検作業を行う場合は換気に気を付けてください。
- 2) バルブの吊り上げ・玉掛けを行う場合は、質量を確認のうえで行い、吊り荷の下には入らないなど安全には十分注意して作業してください。
- 3) 作業を行う時は足場等の安全を確保し、不安定な管の上などでの作業は避けてください。
- 4) バルブの取り外しや分解作業、機能点検を行う際は管内、弁本体内に圧力が残っていないことを確認してください。 補修弁が設置されている弁（空気弁、消火栓）については補修弁を全閉とし、圧力を抜いてください。